

第65期 株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日



関西フードマーケット

証券コード:9919

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2024年3月期第2四半期の連結業績は、価格転嫁の浸透による客単価上昇と客数の回復が進んだことにより、売上高は191,117百万円（前年同期比103.3%）、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は198,260百万円（前年同期比103.2%）と前年実績を上回って推移しました。

また、各社において運営・要員の効率化やコストコントロールが進み、連結営業利益4,691百万円（前年同期比255.1%）、連結経常利益4,471百万円（前年同期比295.3%）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、イズミヤ・阪急オアシス(株)の合併による業績向上に伴って、税効果の見直しを行ったこと等により、4,057百万円（前年同期比515.1%）と大幅な増益となりました。



代表取締役社長 林 克弘

上記のとおり、第2四半期の連結業績は好調に推移しましたが、原材料や燃料の高騰、最低賃金の上昇、そして物流費の増加などに加え、マーケットの縮小や他業種の参入による競争の激化など、食品スーパーを取り巻く環境はまだ厳しい状況が続いています。

このような中、当社グループでは、2023年4月1日にイズミヤ(株)と(株)阪急オアシスを合併し、イズミヤ・阪急オアシス(株)として、組織・人事の一元化や営業本部機能の効率化、システム統合など事業運営の一体化に踏み出し、マネジメントやオペレーションの面で効果が生まれ、経営の基盤が整いつつあります。今後は、同社と(株)関西スーパーマーケットとのシナジー効果のさらなる実現に向け、店舗運営や決済、商品政策、製造・開発、物流、プロセスセンター、システム、本部機能などの分野での取り組みを推進してまいります。

そして、「食」とおして、当社グループが出店する関西地域の生活者の暮らしの元気パートナーとなるべく、今後も企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

業績ハイライト

各社の概況

	総額売上高	営業利益
イズミヤ・阪急オアシス	1,321億円 (前年同期比 103.1%)	28億円 (前年同期比 321.4%)
関西スーパーマーケット	662億円 (前年同期比 103.5%)	20億円 (前年同期比 183.5%)

両社ともに、客単価上昇と客数の回復に加え、売上・利益率の改善に向け、曜日販促の恒例化を推進するなどの集客施策や、惣菜、PB商品、重点販売商品の取り組みを強化しました。また、クリンリネスや衛生管理、売場の適正化など「one day リフレッシュ」を実施し、お客さま視点での店舗の活性化にも取り組みました。

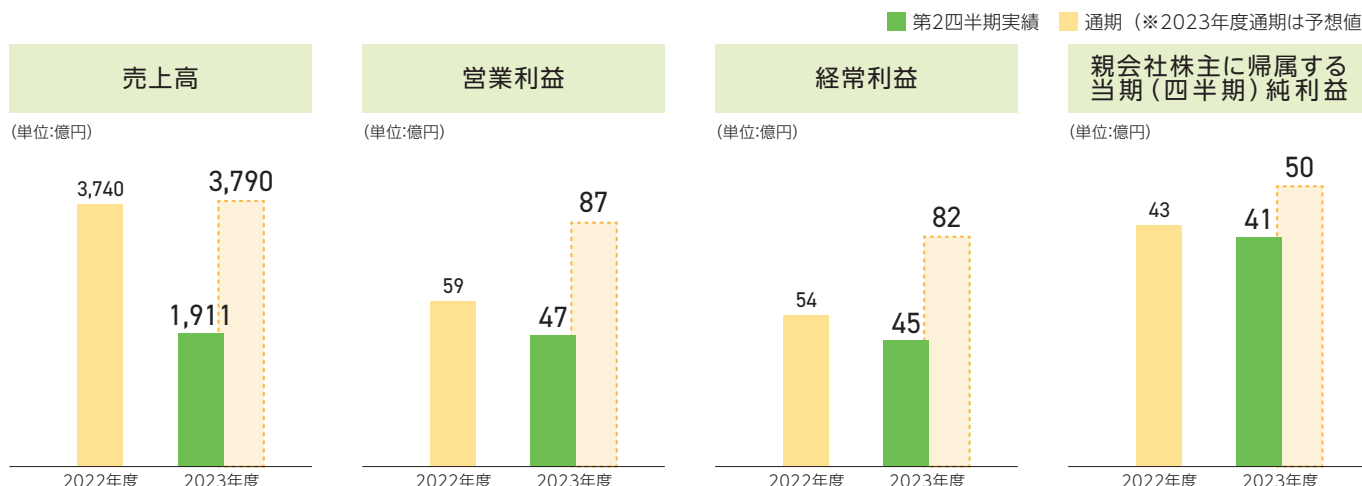
その結果、イズミヤ・阪急オアシス(株)では、既存店売上高前年同期比は104.0% (客数101.0%、客単価103.0%) となり、(株)関西スーパーマーケットの既存店売上高前年同期比は104.6% (客数100.0%、客単価104.5%) となりました。

また、販売費及び一般管理費は、生産性の向上のために什器等の改善を実施し、さらなる要員体制の最適化などを通して経費コントロールに努めたことで、両社ともに前年実績を下回りました。

※イズミヤ・阪急オアシス(株)と(株)関西スーパーマーケットの経営成績については、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した数値を記載しています。
※(株)関西スーパーマーケットの経営成績は(株)関西スーパーマーケットと(株)KSPとの連結数値です。

連結決算概況

	第2四半期累計期間	通期予想
売上高	1,911億円 (前年同期比 103.3%)	3,790億円 (前年同期比 101.3%)
営業利益	47億円 (前年同期比 255.1%)	87億円 (前年同期比 147.0%)
経常利益	45億円 (前年同期比 295.3%)	82億円 (前年同期比 152.2%)
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	41億円 (前年同期比 515.1%)	50億円 (前年同期比 117.3%)



※記載の金額は、表示桁数未満を四捨五入して表示しております。

Chapter 1

新・付加価値型プライベートブランド 「阪急プレミアム」発売

2023年6月に、「関西スーパー」「イズミヤ」「阪急オアシス」の店舗で、阪急百貨店やカナート、阪急キッチンエールと共同で販売する新たなプライベートブランド商品「阪急プレミアム」の取り扱いを開始しました。

阪急プレミアムは、「価格<価値」（「価格」はそのままに、「価値」を引き上げる）をポイントに、味覚・素材・配合・製造・使いやすさ・環境配慮の要素に徹底的にこだわることをコンセプトに商品開発を行い、毎日の食卓にちょっとした豊かさや特別感をプラスしたいという思いを込めてつくりました。

2023年10月現在、ピッツアや豆腐、和菓子など21品目を発売しており、2030年度に110品目に展開を拡大していく予定です。



「阪急プレミアム」
グループの食品スーパーや百貨店などでも幅広く展開

各店でさまざまなプライベートブランドを展開中

関西スーパーでは、商品開発50周年を迎えた「くらし良好」を577品目（2023年9月時点）展開しており、商品を活用したレシピ情報も毎月ご提供しています。

そして、イズミヤと阪急オアシスでは、2023年8月に新たな価格訴求型PB「daily one.（デイリーワン）」の販売を開始しました。

確かな品質と味わいのまま、お求めやすい価格を実現するため、包装資材の軽量化など余分なものを減らし、商品、価格に反映させることをコンセプトとして、リーズナブルな価格を実現させたPB商品で、20品目（2023年10月時点）を展開しています。

今後も、お客さまの毎日の食卓を彩るプライベートブランドの商品開発に取り組んでいきます。



「daily one.」
新たな価格訴求型
PBが登場



「くらし良好」
商品開発から
50周年

Chapter 2

食品スーパー各社では、お客さまに、より美味しい商品をご提供し、便利なお買い物を実現することを目指して、店頭からインフラに至るまで、さまざまな生産性向上に向けた取り組みを進めています。

電子棚札でより見やすく、わかりやすく

関西スーパーでは、従前より電子棚札を導入していましたが、新たにカラー表示可能な電子棚札を導入しました。これにより、お客さまにとってさらに見やすく、わかりやすい価格表示が可能になるとともに、データ管理により、価格の表示ミスの防止や、POPの取り付け・取り外し作業が軽減され、従業員の作業効率にもつながっています。今後も、電子棚札の導入店舗を増やしていきます。



システム統合により業務フローを統一

2023年4月1日に合併したイズミヤ・阪急オアシス(株)では、これまで2社で異なっていたシステムや業務フローの統一などさまざまな効率化に取り組んでいます。2023年10月には、基幹・MDシステム及び人事・会計システムにおいて、大規模なシステム統合を実施しました。これまで2重に行っていた業務フローが統一され、マスタ登録や発注業務などの商品調達業務や、本部・本社の管理業務など幅広い業務領域で効率化を図る基盤が整備されました。今後はこれらのシステムを最大限活用することで、さらなる業務の生産性向上に取り組んでいきます。

サステナビリティの取り組み

阪急オアシス 川西「食品廃棄ゼロエリア」化プロジェクトに参画

阪急オアシス・キセラ川西店（兵庫県川西市）を中心に、店舗・地域・家庭が一体となって食品廃棄物の削減に向けて取り組んでいます。同店に設置したバイオコンポスターを活用した店舗の食品廃棄物削減の実証実験に加えて、従業員が講師となり食品廃棄物について学ぶ機会の創出、地域の方々とともに家庭から出る生ごみをコンポストバッグにより堆肥化し近隣の市民ホール前花壇で活用するなど、同店が立地する地域における廃棄物の削減とにぎわいづくりに取り組んでいます。



関西スーパー 食育体験ツアーの実施

関西スーパーでは、夏休みに小学生とその保護者を対象とした食育体験ツアーを実施しました。食事栄養バランス学習やお買い物ゲームに加え、お取引先の協賛によりドレッシングの手づくりパッケージを作成する「デコドレ体験」等で、楽しみながら「食」について学んでいただきました。

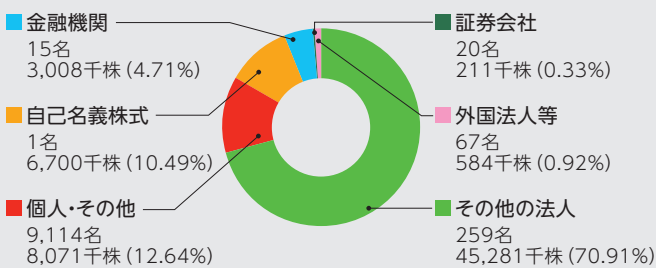


株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行済株式の総数 63,858,804株

株主数 9,476名

所有者別株主分布状況



大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	37,034	64.79
関西スーパーマーケット取引先持株会	2,658	4.65
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,010	3.52
伊藤忠食品株式会社	1,430	2.50
国分グループ本社株式会社	1,111	1.94
加藤産業株式会社	700	1.22
関西スーパーマーケット従業員持株会	564	0.99
株式会社かね清	400	0.70
伊丹産業株式会社	301	0.53
株式会社みなと銀行	285	0.50

(注) 1. 当社は、自己株式を6,700,898株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

インターネットホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。

(<https://www.kansai-foodmarket.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード

株式会社 関西フードマーケット

〒664-0851 兵庫県伊丹市中央5丁目3番38号 <https://www.kansai-foodmarket.co.jp/>